

健康かわらばん

第91号 (令和2年8月号)

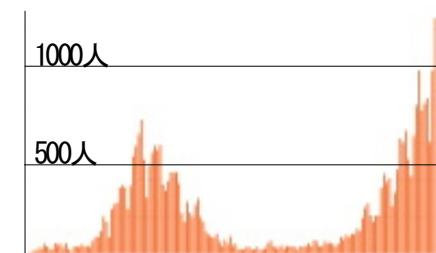
特集:新型コロナウイルス感染症(その2)

1. 日本における感染状況

緊急事態宣言により自粛を続けた結果、5月中旬以降は新規感染者数が激減していましたが、東京都で6月下旬から新規感染者が増え始め、当初は検査数の増加によるものとの説明でしたが、7月末現在、東京だけでなく大阪・愛知・福岡等大都市を中心に明らかに第2波が到来しております。

2. 世界の感染状況

世界的にはヨーロッパは収束して来ていますが、アメリカが再度増加し、ブラジル・インドでも高い感染率が持続し、一日の新規感染者数・死亡者数ともいまだに増加しています。



3/1 4/1 5/1 6/1 7/1
日本の新規感染患者数



■ >10万 ■ 1万-10万 ■ 1千-1万 ■ 100-1千 ■ <100
世界の最近1週間の新規感染者数

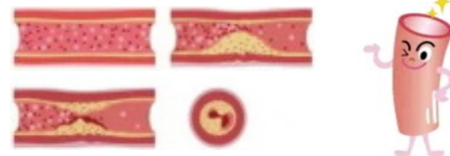
3. 種々の検査法

現在の感染の有無を調べる検査では、PCR検査の他に抗原検査も保険適応になりました。これは結果が早く出ますが、PCR検査に比べると感度が低いのが欠点で、PCR検査・抗原検査とも現在は指定された病院・検査センターでしか施行できません。検体も鼻の粘液・痰だけでなく、唾液での検査も可能になりました。抗体検査は血液を使って行い、現在の感染ではなく、過去に感染していたかどうかを調べるものです。抗体を持っていればその病気には今後かかりにくいと考えられますが、新型コロナでは十分検証されていません。



PCR検査・抗原検査は鼻腔粘液のみでなく唾液も可能になった。抗原検査・抗体検査には簡易キットもあり。

検査名	目的	検出するもの
PCR	現在感染しているか	ウイルスを特徴づける遺伝子配列
抗原	現在感染しているか	ウイルスを特徴づけるたんぱく質
抗体	これまでに感染したか	ウイルスを攻撃する体内の抗体



動脈硬化があると血栓で血管が詰まりやすい。血管を若く保つことが大切！！



退院後の後遺症

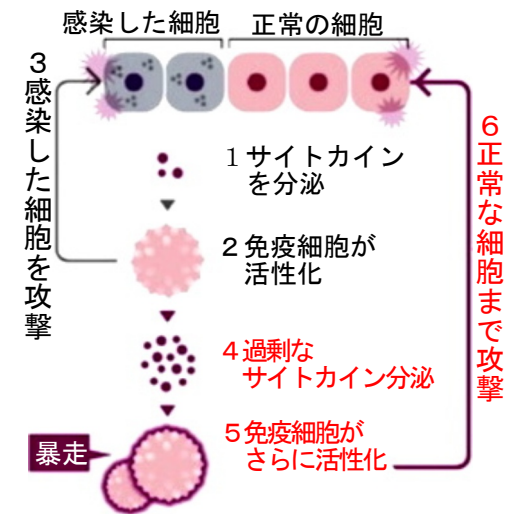
4. 血管炎・血栓、後遺症

海外で比較的若い人にも脳梗塞や心筋梗塞が合併したり、皮膚にしもやけ様の病変が出来やすいことから、新型コロナ感染症では血管の炎症や血栓(血の塊)が起きやすいことが分かってきました。肺を通じてウイルスが血管内に入り込み、色々な臓器の血管を攻撃すると考えられています。肺炎から呼吸機能が急激に悪化することがありますが、肺の血管に炎症が起きそれを修復しようとして血栓が詰まることが主因ではないかとされています。高齢者や生活習慣病のコントロールが悪い人・喫煙者での死亡率が高いのもこのためではないかと考えられています。

また、入院患者でウイルスが陰性化し退院した後も、だるさや息切れ、咳、関節痛、胸の痛み、動悸等の後遺症が残る人が過半数いることが分かってきました。味覚・嗅覚障害が残る人もいます。

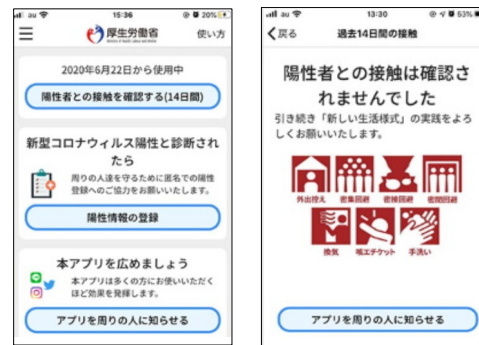
5. サイトカインストーム

若くても重症になる人は、サイトカインストーム（免疫暴走）が原因と言われています。サイトカインとは炎症を起こした細胞から血中に出る物質で、他の細胞に体の異変を伝達し防御させます。大切な仕組みですが、免疫が強すぎると、大量にサイトカインが放出されると、全身状態の悪化や血栓形成が生じます。免疫が低下した人でも感染した細胞が多すぎると、同様の状態になると推測されています。



6. 接触確認アプリ

「COCOA」というスマートフォン用の接触確認アプリが提供されました。Bluetoothを利用し、登録している人同士の接触情報をサーバーが記録しておきます。感染が判明した場合、その人に14日以内に接触した人に対して通知が届き、対処法を案内する仕組みです。個人情報を守られ、感染者が誰かは特定されず、感染の登録には処理番号の入力が必要なため虚偽の登録は出来ません。優れたシステムですが、多数の人の参加と、感染者の自主的な申告が無いと機能しないところが問題点です。



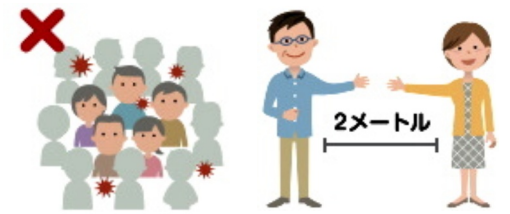
COCOAの画面

7. 治療法の開発

ワクチンは世界中で開発されていますが、供給は早くても来年以降になる模様です。過去のワクチンでは、接種した方が重症化した場合もあったため、十分な副作用チェックが必要になります。薬剤では日本でも承認されているレムデシビルが重症者の死亡率を下げることが分かりましたが、期待されたアビガンは有効性が確認されませんでした。ステロイドホルモンのデキサメタゾンも重症例の免疫暴走の抑制に有効なようですが、まだ初期に使える特効薬と言える薬は出ていません。

8. 新しい生活様式

経済を止めずに他人と交流しながら感染を予防するために、新しい生活様式が推奨されています。三密を避ける、マスクの着用、咳エチケット・手洗いの徹底、テレワーク・オンライン会議の推進・多人数の会食を避ける等です。



密閉・密集・密接の三密を避ける



手洗いの励行

マスクの着用



毎朝の体調管理

頻回の換気



テレワーク・オンライン会議の推進

新しい生活様式の例

「新しい生活様式」を守る必要があるようです。

新型ウイルス感染症について、前号以降の情報を中心にまとめました。一度は感染が収束したように見えたが、残念ながら高温多湿でのウイルスの失活はなく、自粛の解除とともに東京から感染が拡大してきました。当初は夜の街・若者中心の感染でしたが、現在は中高年にも広がり、感染源不明も増えていきます。次第に東京以外の感染も増えてきて、今まで感染者が検出されなかった岩手県でも、七月二十九日に二人の感染が発表されました。政府は経済を回すために再度の緊急事態宣言の発令を控えています。現状は緊急事態宣言時に劣らず危険な状態と言えます。感染流行地では不要の外出は控えた方が良いでしょう。今しばらくの間は「新しい生活様式」を守る必要があるようです。



あどがき

新型ウイルス感染症について、前号以降の情報を中心にまとめました。一度は感染が収束したように見えたが、残念ながら高温多湿でのウイルスの失活はなく、自粛の解除とともに東京から感染が拡大してきました。当初は夜の街・若者中心の感染でしたが、現在は中高年にも広がり、感染源不明も増えていきます。次第に東京以外の感染も増えてきて、今まで感染者が検出されなかった岩手県でも、七月二十九日に二人の感染が発表されました。政府は経済を回すために再度の緊急事態宣言の発令を控えています。現状は緊急事態宣言時に劣らず危険な状態と言えます。感染流行地では不要の外出は控えた方が良いでしょう。今しばらくの間は「新しい生活様式」を守る必要があるようです。